



## エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

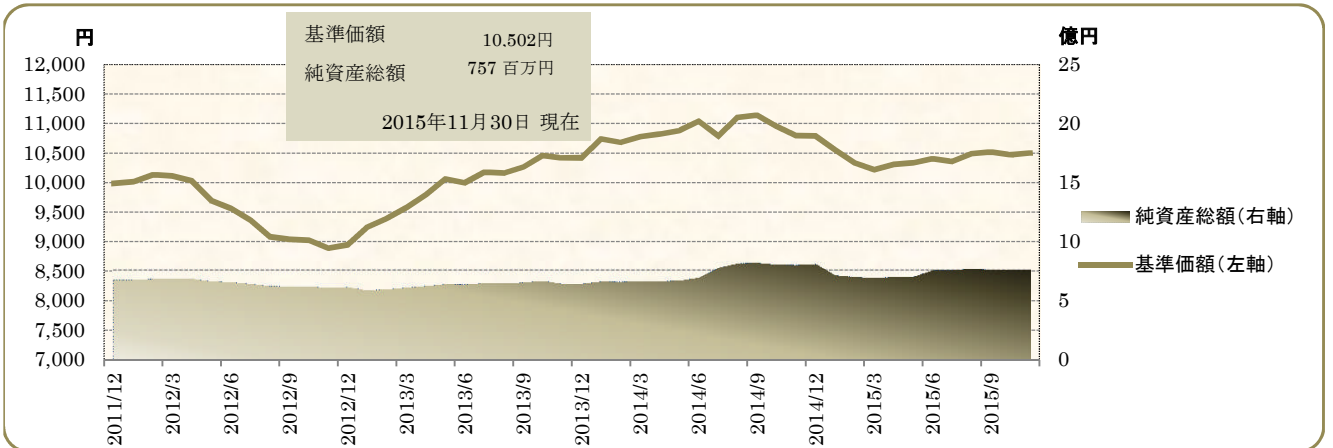
ケイマン諸島籍オープン・エンド契約型外国投資信託(追加型)

作成基準日

2015年11月30日

## 基準価額騰落率推移 (諸費用控除後, 税引前)

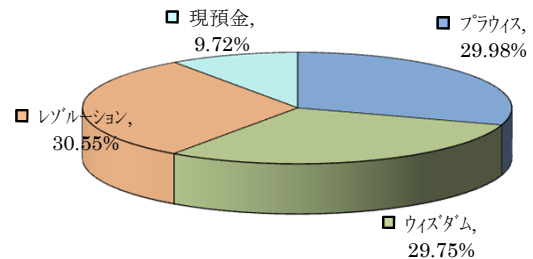
2015	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
騰落率	-2.19%	-2.07%	-1.13%	0.85%	0.28%	0.68%	-0.50%	1.31%	0.29%	-0.49%	0.32%		-2.70%
2014	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
騰落率	3.05%	-0.55%	0.89%	0.41%	0.55%	1.48%	-2.27%	2.94%	0.34%	-1.73%	-1.44%	-0.02%	3.54%
2013	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
騰落率	3.32%	1.57%	2.01%	2.27%	2.77%	-0.68%	1.80%	-0.18%	1.03%	1.91%	-0.43%	0.08%	16.51%



## 運用実績

設定日:	2011年12月19日	
決算日:	毎年11月30日	
当初設定元本:	673百万円	
基準日:	2015年11月30日	
基準価額:	10,502円	対前月比 33円
純資産総額:	757百万円	対前月比 +2.3百万円
設定来高値:	11,146円	
設定来安値:	8,888円	
期間別	3ヶ月	0.10%
基準価額騰落率	6ヶ月	1.60%
設定来	ファンド	5.02%
基準価額騰落率	TOPIX	118.40%
	日経平均	135.04%

## 投資対象ファンドへの資産配分 (2015年11月30日現在)



運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

## 投資対象ファンドの基準価額騰落率推移 (諸費用控除後, 税引前)

2015	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
プラウイス	-2.91%	0.43%	-0.74%	1.81%	0.84%	-0.27%	0.22%	0.84%	0.48%	0.83%	0.19%		1.67%
ウイズダム	-1.38%	-1.99%	-0.24%	0.27%	0.85%	1.82%	0.96%	1.39%	-0.95%	0.00%	0.92%		1.59%
レゾリューション	-1.92%	-4.43%	-1.60%	1.93%	0.57%	2.72%	-1.63%	3.38%	2.61%	-1.26%	1.14%		1.21%
2014	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月*	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
プラウイス	2.24%	-0.37%	0.41%	1.08%	0.88%	2.08%	-0.16%	-0.32%	1.01%	-0.04%	-0.24%	-1.41%	5.22%
ウイズダム	0.94%	-0.06%	0.36%	0.81%	0.50%	1.06%	-0.30%	1.17%	0.46%	-0.04%	0.03%	0.33%	5.38%
レゾリューション	6.74%	-0.06%	2.94%	0.52%	1.36%	2.63%	-2.53%	5.02%	1.61%	-3.52%	-0.75%	2.09%	16.76%
2013	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
プラウイス	2.93%	1.07%	1.65%	3.95%	3.00%	-0.09%	1.11%	-0.32%	0.23%	0.95%	-1.04%	-0.06%	14.08%
ウイズダム	2.59%	2.09%	0.71%	2.09%	2.03%	1.19%	1.36%	0.44%	1.06%	0.73%	-0.15%	-0.01%	15.05%
レゾリューション	5.82%	2.76%	4.78%	2.00%	4.83%	-1.97%	4.08%	0.46%	2.94%	4.90%	1.06%	1.46%	38.27%

\* 上記騰落率は投資対象ファンドの費用控除後の騰落率です。エピック・ヘッジファンド・セレクション1(以下「HFS」という)にかかるコスト等が含まれないため、投資対象ファンドの騰落率を資産配分結果で加重平均した場合、HFSの基準価額騰落率とは一致いたしません。



# エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

## 相場動向

11月の株式相場は、日経平均で3.48%上昇の19,747.47円、TOPIXで1.42%上昇の1,580.25ptとなりました。円安傾向で推移したことや、郵政3社の大型新規公開が順調な滑り出しとなり投資家心理が改善したことなどから、上昇しました。

上旬は、イエレンFRB議長の議会証言や好調な米雇用統計を受けて12月の米利上げ観測が高まると、円安・ドル高が進み、外需株を中心に上昇しました。7~9月期決算発表が悪くない内容だったことや、4日に新規公開した郵政3社が公開価格を大幅に上回る初値を付け、その後も堅調に推移したことなども、投資家の心理を好転させました。

中旬は、13日のパリ同時多発テロや16日発表の7~9月期GDPが市場予想を下回ったことを受けて下落する局面もありましたが、欧米株高や円安を受けて持ち直しました。

下旬は、12月の欧米金融政策イベントを控えて投資家の様子見姿勢が強まり、手掛かり難から狭い範囲でのみ合いとなりました。

需給面では、海外投資家が2ヵ月連続の大幅買い越しとなりました。一方で個人投資家や信託銀行、投資信託など国内投資家が売り越しとなりました。

セクター別騰落率では、金属製品、小売業、精密機器、鉱業、機械が上位となり、パルプ・紙、電力・ガス業、空運業、証券業、不動産業が下位となりました。

東証一部の売買代金は、1日当たり2.47兆円で、10月よりもやや増加する程度に留まりました。

ファクター面では、PERやPBRなどの典型的なバリュースタイル指標の有効性が低下した一方で、ROEや経常利益成長率などのグロース指標に有効性が見られました。規模別では、TOPIX Core30指数が-0.11%だったのに対しTOPIX Small指数が+3.80%となるなど、小型株優位が顕著でした。

## 組入ファンドの運用状況と今後の市況見通し及び投資戦略

### 【ブラウイス】

#### <ファンド運用状況>

11月の運用成績はJPYクラスで+0.19%となりました。11月前半は決算発表をうけて食品や精密セクターを中心に割高・割安の修正が進んだことで堅調なパフォーマンスとなりました。しかし、中旬以降株価指数がじり高で推移する中、ロングポジションがアンダーパフォームする傾向が強まり運用成績も軟調なものとなりました。

セクター別の損益では食品、精密、機械、化学セクターでプラスとなり、金融、輸送用機器、電気ガスセクターでマイナスとなりました。

#### <今後の市況見通し及び投資戦略>

12月の株式市場は上値の重い相場展開を想定します。直近2か月の株価上昇により、日本株のバリュエーション面での割安感が後退したことに加え、テクニカル指標面での過熱感もあり上昇余地は限定的と考えます。

今後の運用方針は、個別企業の業績・需給動向や国内外のマクロ動向を勘案し、相対的な割高・割安を適切に判断しながら、マーケットの上下に左右されない安定した収益の獲得を目指します。

### 【ウィズダム】

#### <ファンド運用状況>

11月の運用成績はJPY-Fクラスで+0.92%でした。今月は中間期の企業決算開示で業績好調銘柄が相対的に市場をアウトパフォームし、医薬品、小売、サービス等のセクター内の銘柄選択効果によりプラス収益となりました。

個別銘柄レベルでは、ロングポジションでアウトソーシング(2427)、マツモトキヨシHD(3088)、ショートポジションでは東邦チタニウム(5727)、中部電力(9502)がプラス収益に寄与しました。

#### <今後の市況見通し及び投資戦略>

今月の株式市場は横ばいを予想します。今月はECBの追加金融緩和や米国FOMCでの利上げが実施されるかが焦点となり、前半は円安・株高が予想されるものの、イベント通過後は材料出尽くしでポジション解消売りが出る可能性もあり、値動きの荒い相場展開を予想します。

今後の投資戦略につきましては、クオンツモデルとトップアナリストによる投資評価の双方を活用し、銘柄選択により安定的な収益を目指します。

### 【レゾリューション】

#### <ファンド運用状況>

11月の株式市場は、月初は先月来の小型株劣位が継続していましたが、月中から反転し、小型株優位のまま終わりました。一方、バリュースタイルのトレンドが続いたため、バリュースタイルのポートフォリオにしている点からは厳しい環境となりました。

ポートフォリオは、引き続き、化学、建設などのセクター（個別銘柄の判断から結果的に電機をオーバーウェイト）、特に情報サービスを大きくオーバーウェイトしています。

ある程度確信的に一部グロース銘柄の組入を維持しているため、ファンド全体ではバリュースタイル傾向であるものの、これらの小型株らしいロング銘柄がプラスに寄与しました。

全体として小型株の出来高は少ないですが、グロース志向の小型株は、比較的勝ちやすい（バリュエーションが維持される）状況にあると考えています。

アイスタイル(3660)やアウトソーシング(2427)などのほか、個別要因により好調な銘柄のロングがプラスに寄与しました。一方、ロングは業績低迷割安銘柄、ショートは高バリュエーション銘柄がマイナス寄与しました。

全体として、好業績銘柄のロングによりパフォーマンス確保に至りました。

#### <今後の市況見通し及び投資戦略>

小型株については引き続き、多数銘柄の安値放置、一部銘柄へのプレミアム付与のトレンドが見込まれ、定性評価を重視したポートフォリオを意識します。

年内グロースベットとする一方で、地味な小型銘柄の大型株に対する劣位も想定され、全体としての小型株ウェイトの拡大は行わない方針です。

基本的なセンチメント（バリュースタイル）は変わらないと思われますが、来期以降の好業績持続銘柄や業績回復銘柄へのシフトを進めます。

業績モメンタムの変化に留意し、継続した業績拡大可能な割安銘柄の組入を行います。成長力や競争力といった中期的な視点により割安銘柄と割高銘柄の選別を進めます。

## 投資信託の主な関係法人

管理会社:	インターナショナル・マネジメント・サービス・リミテッド
信託会社:	G.A.S. (ケイマン)リミテッド
管理事務代行会社:	エスエムティー・ファンド・サービス(アイルランド)リミテッド
保管銀行:	スミトモ・ミツイ・トラスト(ユークイ)リミテッド
投資運用会社:	エピック・パートナーズ・インベストメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第432号 加入協会:一般社団法人 日本投資顧問業協会
代行協会員・日本における販売会社:	ヘッジファンド証券株式会社 <a href="http://hedgefund-sec.com/">http://hedgefund-sec.com/</a> 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2580号 加入協会:日本証券業協会



# エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

金融商品取引法に基づく表示

## 商号等

エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第432号

## 当社が加入する協会等について

一般社団法人 日本投資顧問業協会 加入 第011-01395号

## ご留意事項

- 当資料は投資信託の運用状況をお知らせするためにエピック・パートナーズ・インベストメンツが作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。
- 投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。
- 当資料は特定の有価証券等の取得の申込み、投資顧問契約、投資一任契約の勧誘等を目的としたものではありません。
- 当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。  
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。
- 運用管理費用、監査費用、その他の諸経費が、投資信託の保有期間に応じてかかりますが、事前にその上限を示すことができません。また、有価証券の売買等に係る手数料、租税等が発生しますが、運用の状況により変動しますので事前にその上限を示すことができません。

**当資料は、投資運用会社であるエピック・パートナーズ・インベストメンツが投資信託の運用状況をお知らせするために作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。**

**投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。**